
危機一髪

来実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

危機一髪

【Nコード】

N8927H

【作者名】

来実

【あらすじ】

平次と和葉の美國島での話です。

美國島の一角に

険しい顔したふたりがいた。

『待つとき和葉！今引き上げてやるさかいな！』

平次わ片手で木の枝に掴まり、もう片方の手で宙ぶらりんの和葉な腕を掴んでいた。崖から落ちた和葉を必死に助けようとしているのである。

『平次…』

ミシミシッ

（あかんっ枝が折れてまう！このままやとふたりとも死んでまうやないの！平次まで死なすわけには行かん！）

和葉わ懐から矢を取り出した。

『和葉…？』

（あたしの分まで長生きしたってや、平次）

『ばいばい…』

グサッ

眼に涙をためた和葉は平次の手の甲を刺した！

『あほおっ！』

ズッ

『……っ』

（なんで？なんで手エ離さへんの平次？）

『動くなやつ！動いたら……殺すぞっ』

『…平次…』

『ハア、ハア…怪我、ないか和葉…』

『へ、平気や…』

（むしろ痛そうなのは平次の方やん…。手エぐっさりやってもうたもん…）

『…ごめんな平次』

『まったくや！人の事助けよして自分が落ちるやなんて、あほにも程があるわ！』

『そやなくて！それもあるけど…その…手や』

和葉は今にも泣きそうな顔でうつむく。

ふいに、ふつ、と平次が息をついた。怒ってるやらな、と思いながら和葉は恐る恐る顔をあげる。

ふわっ

（え？）

顔を上げた瞬間、和葉は平次に抱き寄せられていた。

『この、アホ女』

言葉とは裏腹に、平次の腕は優しく和葉を包んでいる。

『な、な、なんやねん…。人の事あほほ言うもんやないねんでっ』

和葉は真っ赤な顔で抗議する。

『…てゆうか、その…この状況がよくわからへんねん。』

ぎゅっ

平次はさっきより強く和葉を抱きしめた。

『ちよっ…平次！？苦し…』

『お前、なんでこんなことしたん？』

『え？』

『せやから、なんで刺したかて聞いてんのや』

『そっそんなん…決まってるやん！平次まで死なせたらあかん思て

…』

『だからアホ女や言うてんのや！』

『…な、なんでや！平次のためや思てやったんやで！？』

平次は、ふうっ、とため息をついた。

『それで俺が喜ぶや思うんか？ボケ！』

（あっ…）

和葉はハッとした。平次が喜ぶはずがない。自分を犠牲にするなんてこと。

『そんな事されよつたら、自己嫌悪で自殺してまうで?』

『自殺て…大袈裟やなあ』

『大袈裟とちやうで。一番大事な奴なくして、普通の状態保てるわけないやろ』

(え?...聞き間違いやるか...)

『一番大事で、誰の事や?』

『誰て、お前の他に誰がおるんや?』

『っ...!』

和葉は顔を真っ赤にしている。和葉は気づいていないが、平次も顔が赤い。

『うつ嘘や!』

『あん?何言うてんねん。信じてないんか?』

ぐいっ

『んっ……………』

平次は和葉の顔を引き寄せて深くキスをした。

『いい加減気づけや。俺はもうずっと前から、和葉が好きでしょーもなかったんやで』

『平次……………』

『お前は?』

『えっ』

『和葉の本当の気持ちが知りたいねん』

『…あたしも。あたしも平次の事ずっと見とった。…平次が好きや』

『…ホンマか?』

『どうやら、鈍いんはお互い様みたいやなあ』

ふたりは顔を見合せて笑いあった。

そのあと事件は解決し、ふたりは帰りの船の上にいた。

『服部くん!』

蘭が目をキラキラさせて走りよる。

『ね、傷みせて!』

『傷?』

『和葉ちゃんとのラブラブな傷痕よ!』

『ちよつと蘭ちゃん!?』

『ああ、あれか。今朝起きて見たら、かさぶたとれて綺麗に治ってしもてたわ』

そう言って手をだして見せる。

『えーっ』

『嘘お…。せやったらもつと深く刺しとくんやったわ』

『おいっ』

そんな会話をコナンは横目に聞いていた。

コナンの視線の先には、ポッケの中に隠されている、包帯で巻かれた手。

（はは。このかっこつけ）

反対の手に傷があるのが和葉たちにはれたのは、それから10程後の事である。

F i n

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8927h/>

危機一髪

2010年10月11日00時57分発行